

## よくわかる/ 補助金活用事例vol.03

### 企業概要

#### 前橋橋本合金株式会社

業種 非鉄金属鋳造業(大正7年創業)  
群馬県前橋市総社町総社2117-1  
TEL 027-251-4012

### 課題と補助金活用のきっかけ

「強みを守り、さらに伸ばすための投資。」  
大正時代に創業し、前橋に拠点を構えて約40年。  
半導体関連を中心に、高度な管理と技術力が求められるマグネシウム製品の鋳造を強みとして実績を重ねてきました。引き合いが増える一方、従来の鋳造シミュレーションはGPU(計算を高速に行う機能)非対応のため、解析精度が低く、不良率の高さや湯流れ解析(溶けた金属が型の中をどう流れるかを確認する解析)に約39時間かかり作業が滞ることが課題でした。品質と開発スピードの両立を図るため補助金を活用し、システム更新に踏み切りました。



## 培った技術を、次の成長へ

— 鋳造シミュレーション刷新で  
切り開く次の一歩 —

↑お話を伺ったのは…  
生産技術課課長 本多清顕さん



技術力が  
光る製品

↑導線が細かく走り、その線に金属が流れていく。2mmの単位で大きな誤差が出てしまう繊細な鋳造の世界。高品質な製品を生み続けるために、挑戦は続いていく。

### 補助金活用後の効果

GPU搭載の鋳造シミュレーションシステムを導入したことで、解析精度が向上。

**湯流れ解析は39時間から**

**38分へと大幅に短縮**され、試作・検討のスピードが飛躍的に改善しました。不良予測がしやすくなり、品質の安定化にもつながっています。今後は、培ってきた高い技術力を武器に大型案件へも積極的に挑戦。選ばれ続ける鋳造メーカーとして、さらなる成長を目指していきます。



### 活用した補助金



#### DX推進補助金

補助上限額150万円、  
補助率1/3(個人事業主・法人で小規模企業者は1/2)以内

